北原小学校と交流活発に
児童のアイデア採用へ

野方（振）

中野区の野方商店街振興組合（榎本雅則代表理事）が、隣接する区立北原小学校との交流に力を入れている。

商店街イベントへの児童の参加やアイデア採用に加え、今年90周年を迎える同校を祝う取り組みも進んでいる。

両者の交流が本格化したのは2023年。野方商店街が「笑い」をテーマに活動していることを知った学校サイドから「寄席を開きたい」と相談され、旧知の落語家を紹介したのがきっかけだ。その後、児童が個店のCMを制作する公開授業などを行ってきた。昨年からは、イベント「エイプリルフールde街おこし ジョークの貼り紙in野方」（第13回東京商店街グランプリ特別賞受賞）に児童が参加している。

8月26日から始まる「野方お笑い総選挙」（第20回東京商店街グランプリ特別賞受賞）では、児童のアイデアを生かした企画が実施されることになった。

今年2～3月にかけて行われた5年生（当時）対象の特別授業「野方商店街を楽しくするアイデア」で出た案のうち、実現性の高いものを採用する。授業には、お笑い芸人と落語家計6人が特別講師として参加し、アイデアをより面白くするための考え方を伝えたという。

「初めから完成形に近い発想もあり、私たちも刺激を受けた」と榎本代表理事は話す。

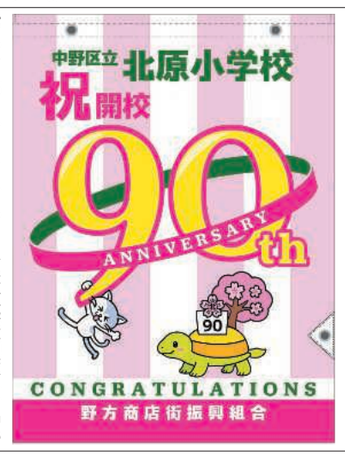
総選挙は9月4日まで8組のファイナリストが街頭演説などの選挙活動を行い、最終日の5日に野方区民ホールで3代目チャンピオンを決める「投開票お笑いライブ」を開く。今回は初の土曜開催でタレントのDJ KOOさんが引き続きチェアマンを務める。

北原小学校との交流はイベント以外にも広がっており、7月からは90周年記念のフラッグ120枚の掲出が始まっている。児童が考案した亀のキャラクターと商店街のマスコットを組み合わせたデザインだ。11月に行われる祝賀会では、商店街から、楽器等購入用のお祝い金を学校へ届ける予定だ。

榎本代表理事は「小学校と商店街は隣り合っているのに、これまでは登下校の見守り程度で接点が少なかった。子どもたちに商店街の活動を知ってもらい、関心を持ってもらえるとうれしいし、街の未来につながると思っています」と話している。

お笑い芸人らによる特別授業のようす（野方商店街提供）

北原小学校との取り組みについて話す榎本代表理事



開校90周年を祝うフラッグ。掲出後は今年度の卒業生に贈られる

「野方お笑い総選挙2026」の期間中には子どもを対象とした「はじめての選挙体験」を実施し、選挙の仕組みを楽しく学べる機会を提供する

台東区

近隣型商店街をめぐるまちゼミ

38店 43講座

チラシの一部

台東区では、区内全域の近隣型商店街をめぐりながら多彩な個店の魅力に触れる「台東区をめぐる商店街まちゼミ」を開催している。

38店が参加し、お茶の飲み比べや銅のコースター作り、銭湯のバックヤード見学など、全43講座が8～9月で順次開催される。

台東区は、まちゼミ事業で個店の魅力発信と商店街へ足を運ぶきっかけを支援する。

商店街の喫煙所整備
助成制度の活用を

日本たばこ産業株式会社（JT）では、東京都内における喫煙環境整備に関し、各自治体が実施している助成制度について、商店街からの相談に応じている。都内の多くの自治体では、公衆喫煙所の設置費や維持費に対する助成制度が設けられているものの（表）、必ずしも十分に活用されていない状況も見受けられるという。

JTによると、助成額や対象経費、申請手続きは区ごとに異なる。担当者は「制度の存在を知らない方も多い。お問い合わせに応じて、内容のご紹介や説明などをお手伝いしたい」と話す。

商店街ではポイ捨てや路上喫煙への対応、空き地の活用等が課題となる中、民間助成制度を活用した喫煙所整備が環境美化につながった例もあるという。担当者は「喫煙環境の整備が、地域の課題解決の一つの選択肢になれば」としている。

JTは分煙に関する質問や相談へ無償でアドバイスする分煙コンサルティングを行っており、今回の取り組みはその一環。「たばこに関することはお気軽にご相談ください」と話す。

具体的な補助要件や設置の相談については、以下まで。【問い合わせ先】JTお客様相談センター：0120・198・504（平日午前10時～午後5時）※JTの公式ホームページに専用フォームもあり。

「神田駅西口商店街喫煙所」

北区の助成制度を活用して喫煙所を整備したタバコセンターやまとや（赤羽スズラン通り商店街振興組合）の森岡謙二さん。「ポイ捨てや路上喫煙は大きく改善し、商店街の皆さんからも『喫煙所があって助かっている』と好評です」（JT提供）

JTが相談サポート

各自治体における喫煙環境整備に関する民間助成制度の状況

自治体	助成費目	
	設置費	維持管理費
千代田区	○	○*
中央区	○	○
港区	○	○
新宿区	○	○*
文京区	○	○*
台東区	○	○*
墨田区	○	○
江東区		○
品川区	○	○*
目黒区	○	○
大田区	○	○
世田谷区	○	○*

自治体	助成費目	
	設置費	維持管理費
渋谷区	○	○*
中野区	○	○
杉並区	○	
豊島区	○	○
北区	○	○*
荒川区	○	○
板橋区	○	○*
葛飾区	○	○*
足立区	○	○*
立川市	○	○*

出典：各自治体HP（7月1日現在／JT調べ）

※補助の内容・金額・対象地区などは各自治体で設定。維持管理費の＊印は賃料も対象

東京消防庁

迷ったら「救急受診ガイド」
AI活用で音声入力可能に

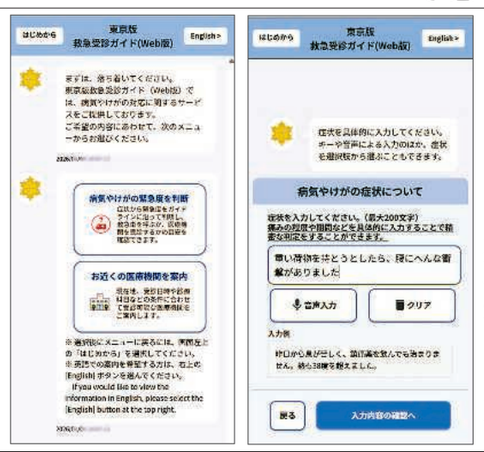
東京消防庁救急相談センターでは、急な体調不良やけがなどで、救急車を呼ぶか医療機関へ行くか迷った時の判断を支援するツールとして「東京版救急受診ガイド（Web版）」（QRコード）を提供している。

今年3月の大幅リニューアルでAIを活用したチャットボット形式を導入し、緊急度の判定から医療機関の表示までが、よりスムーズになった。

機能としては①症状の入力：文字だけでなく音声入力が可能でテキスト作成の時間が省ける。②緊急度の判定：緊急度が高ければ119番へつながるボタンを表示してくれる。③医療機関を検索：症状に適した診療科目を自動で判別し、受診可能な医療機関の素早い検索が可能に。④医療機関を表示：検索結果の医療機関を現在位置から近い順に表示してくれる――というように、一連の流れで完結するのが特長。

プライバシーへの配慮から①～④の入力時に氏名や住所、電話番号などの個人情報を求められることも、自ら入力する必要もない。

東京消防庁では、救急車を呼ぶべきか否かの判断に迫られた時には迷わず「救急受診ガイド」を使ってほしいと呼びかけている。



「救急受診ガイド」スマホ画面の一例

TOSHINREN-information

令和8年度 商店街ステップアップ応援事業

派遣費用 無料

専門家を派遣して

商店街の活性化サポートします！

たとえば右のような相談に対して支援・アドバイスいたします

- 売上アップやにぎわい増につながるイベント
- LED照明の交換を含めた再エネ・省エネ
- 防災など来街者に安心・安全な商店街づくり
- 加入促進・若手の活躍など組織運営
- 商店街の会計処理・補助金などの資金周り
- キャッシュレス・ホームページ導入など IT化
- 多言語化・おもてなしなどインバウンド対応
- さまざまな方に優しい設備などの整備

支援のながれ

お申し込み（WEBにてご案内） ▶ 事前打ち合わせ ▶ 日程調整 専門家手配 ▶ 専門家による支援の実施

※専門家の派遣は1年度に原則として 10 回まで可能です。

随時受け付け中 ➡ 東京都商店街振興組合連合会／商店街ステップアップ応援事業事務局 ☎03-3547-3787